



「こんにちは 市長です」

3月1日号

882億円が新年度の一般会計予算案です。過去最大になる見込みです。令和2年の国勢調査で人口は22万3014人、合併以降人口が増え続けています。元気なまちの証拠です。最大の効果を生み出せるよう努力をしていきます。

今年で合併して17年、「合併は失敗だった」と批判されないように各地区に投資をしてきました。合併から6年後、借入金残高が824億円になった。「こりゃまずい。事業内容を充実させながら借金を減らそう」と決意。昨年度605億円にまで落とした。ちなみに、財政調整基金（いわゆる貯金）は昨年度末で96億円。新年度は市民体育館や西複合拠点施設、大島市営団地にエレベーター設置・大掛かりなリフォームなどを、また太田市保健センターの裏通りは電線の地中化など大型事業が多く含まれています。これらは次の世代に引き継ぐものだから、その方たちに負担をしてもらうのは当然です。一方でごみ焼却施設や校舎、勤労青少年ホームや新田庁舎を解体するなど新たな事業が現実となっています。壊しても更地が残るだけで直接市民サービスにつながらない。しかも多額の予算を必要とする。ごみ焼却施設の解体には17億円を超える費用がかかるという目算がある。人口急増期に建てられた熊野などの市営住宅もいずれは解体しなければならない。難しい時代がきています。

新年度予算に「ベーシックサービス」（低所得の子育て世帯への基本給付）という言葉を入れた。コロナ関連で非課税世帯に給付金が出た。「非課税ではないけど苦しい」という声を聞いた。税を納める人も非課税の人も共に受益者になればいいな、その足掛かりとさせていただければありがたい。（2/15記）